

認知症は少しずつ進行し、症状が変化してきます。家族や周囲

【見守りがあれば日常生活は自立できる】

どこやって
まったんや...



火は消した
かや？



本人の思い
失敗もあるけれど
やれる事を全部
取り上げないで欲しい

- 集合の時間を間違えたり、約束したことを忘れたりする
- 同じことを何度も聞く
- 今まで出来ていた料理や掃除などの家事の段取りが悪くなる
- 薬を飲み忘れる
- 同じ物を何度も買ってしまう
- 不安感やイライラが多くなってくる

り、地域行事やボランティアなどの社会参加をする。
ような最期を迎えたいか、家族と話し合しましょう。

認知症と診断されても、
認知症希望大使の動画で

- イライラすることもあります。一人で抱え込まずに、介護仲間を作りましょう。
- 認知症カフェや相談機関等、自分の気持ちを話せる場所を作りましょう。
- 各制度のサービスを申請し、早めに介護サービスを利用して、頑張りすぎない介護を心がけましょう。

見守る人を増やす

家族だけで支えるのではなく、民生委員や町内会の知人や友人などにも理解を求め、日常生活の中で積極的に見守ってくれる周囲の協力者の数を増やしましょう。



悪質商法などから守る

成年後見制度を利用するなどして、詐欺や悪徳商法などの、被害を防ぎましょう。



介護保険サービス・
高齢者福祉サービス・
などを利用

医療機関

- かかりつけ医
- かかりつけ歯科医
- かかりつけ薬局
- 認知症疾患医療センター
- 精神科、心療内科、
- 脳神経内科、もの忘れ外来
- 脳外科

在宅での暮らしを支える

- 家事サポートサービス
- 配食見守りサービス（独り暮らし等）
- 生活支援サポーター（支え合い団体）
- 住宅改修
- 福祉用具貸与・購入
- ヘルプカード など



グループホーム（要支援 2～）